

日本草地学会誌 投稿原稿チェックリスト

1. 和文の表記

- 和文(全角)フォントは明朝系書体を推奨する。
- 読点(、)は用いず、カンマ(,)とする。
- 漢字、ひらがな、カタカナに加え、「」, (), カンマ(,), 句点(。), ピリオド(.), コロン(:), セミコロン(;), 疑問符(?)などの区切り記号は全角とする。ただし、数値の小数点や桁区切りのカンマは半角。
- 数字とアルファベットは**全て半角**とする。記号も基本的に半角とする。
- 「and」の意味の「および」や「ならびに」は**ひらがな**とする。

2. 英文(要旨, 図, 表)の表記

- 英文(半角)フォントは Times New Roman を推奨する。
- 全て(スペースも)半角**とする。

3. 表紙

- 著者の所属機関が異なる場合には、数字なし、1, 2, 3, …の上付文字で区別する。
- 著者が1名の場合には、著者に*(上付アスタリスク)を付ける。さらに、脚注に、*(上付アスタリスク)に続けて、著者のメールアドレスを記載する[*xxx@xxx.xx.jp]。
- 著者が2名以上の場合には、連絡著者(corresponding author)に*(上付アスタリスク)を付ける(筆頭著者であっても付ける)。さらに、脚注に、*(上付アスタリスク)に続けて、その説明(和文・英文両方)と連絡著者のメールアドレスを記載する[*連絡著者(corresponding author):xxx@xxx.xx.jp]。
- 所属機関所在地あるいは**住所が市**の場合で、**市名が府県名と同じ**時には府県は不要(和文・英文とも)。

4. Synopsis

- 著者名:Hidetoshi Nakata, Shinji Ono, Jun-ichi Inamotoのように**姓名を全部記入**する(姓名は1文字目のみ大文字、2名以上の場合には**カンマ**で区切り、**and**は使わない)。
- 表題:Effect of **Heat Temperature** on **Solubility of Copper**のように各語先頭文字は大文字(先頭以外の冠詞や前置詞を除く)。副題については、先頭の単語と固有名詞の先頭文字のみ大文字。
- 雑誌名は **Jpn J Grassl Sci** とする(それぞれの略に**ピリオド不要**)。
- 出版年, 巻, 頁の未定部分は「x(小文字のエックス)」で記入する。巻の後はコロン。頁範囲は、開始頁と終了頁を半角ダッシュ(en dash)で結ぶ(半角ダッシュが入力できない場合にはハイフンなどの記号で代替する)。最後にピリオドは不要。
- Synopsis は 200 語, 要旨は 350 字以内とし, 1 段落にまとめる。
- 略号が文末になり、文末ピリオドと重なる場合のピリオドは1つ。

5. キーワード

- 英語キーワードは abc 順**(各語先頭文字は大文字)、**日本語キーワードはアイウエオ順**。カンマで区切り、ピリオドで止める。
- 報文では 6 語以内だが、**実用記事と短報は 3 語以内**。

6. 見出しと項目別番号

- 「材料**と**方法」, 「結果**と**考察」が正しく, 「材料**および**方法」, 「結果**および**考察」は不可。
- 項目別番号は, 1, 2, …; (1), (2), …; 1), 2), …; i), ii), …の順。

7. 図表(写真も図扱いとする)

- 図表のタイトル(見出し)の最後はピリオド(.)で止める。写真でも見出しは「図」もしくは「Fig」とする。
- 図と表の単位(%など)はカッコ書き。
- 図の線(軸, 棒グラフの枠線, ○や△の枠線)は明瞭に印刷される程度の太さになっていますか?
- 図のタイトルに続く説明部分は1段落とする。「注」は不要。表の注のような関連付け(図中の当該部分とその説明部分を, 1, 2, 3, …; a, b, c, …; もしくは A, B, C, …の肩文字により関連付けること)はしない。
- 表は横わく線のみを使用し, 縦わく線などは用いない。横わく線は一重もしくは二重の実線のみ(それぞれ 1 種類の太さのみ)とし, 点線や破線は用いない。
- 表における項目行の項目名は左右中央揃え, 上下中央あるいは下揃えとする。項目列の項目名は左揃え, 上揃えとする。
- 表の注を示す文字(表中と表下)は, 1, 2, 3, …; a, b, c, …; もしくは A, B, C, …の肩文字(片カッコ不要)とする。表下のそれぞれの注の最後にピリオド(.)を打つ。
- 短報の図表は計2つ以内。

8. 本文および図表での文献等の記載

- 本文中で2名の連名文献を引用する場合は, 英語文献でも「and」は使わず「・」。3名以上の連名文献を引用する場合は, 英語文献でも「et al.」は使わず「ら」。組織名で始まる文献で, 3 つ以上は筆頭組織に“ほか”を付ける。
- 文献の引用は, 著者あるいはそれに準じるものの名称と出版年による(両者の間には半角スペースを入れる)。従って, 例えば, 日本飼養標準(1995)ではなく, 農林水産省農林水産技術会議事務局(1995), あるいは日本飼養標準(農林水産省農林水産技術会議事務局 1995)とする。
- 同一箇所での複数文献の引用は年代順とする。カンマ(,)とセミコロン(;)の使い方に注意。
- 複数の図表をまとめて引用する場合は, 図 1-2, 表 1-3 のようにする。
- 図表が Fig.1, Table 1 などと英語で作成されていても, 本文中では図1, 表1で記載する。

9. 引用文献リスト

- 審査の過程で削除した文献が残っていませんか?
- 連番は振らない。著者名のある文献とない文献(組織名で始まる文献)を一括して, 筆頭著者の姓または組織名の abc 順に並べる。同一筆頭著者や同一組織の文献は出版年順(連名者数や連名者の姓には関係ない)。引用時に著者(組織)名と出版年で特定できない場合には, 出版年の後に a, b, c の文字を付ける。
- 全員の名前を記載し「et al.」も「～ら」も使わない。「and」も使わない。
- 主題と副題が個別にある(コロンなどでつながっていない)場合はどちらもピリオドで止める。
- 雑誌名は省略形を用いる(イタリックにしない)。ただし雑誌名が 1 語の場合(例えば, Ecology)は省略不要。草地学会誌の和文論文を引用した場合の記載は「Grassl Sci」ではなく「日草誌」。
- 原稿の種類(研究報文, 短報など)に関わらず, 表題は省略しない。
- ピリオドとカンマの使い方に注意。頁範囲は, 開始頁と終了頁を半角ダッシュ(en dash)で結ぶ(半角ダッシュが入力できない場合にはハイフンなどの記号で代替する)。
- 引用文献については, 印刷中のもの(発行年, 巻が確定したもの)までとし, 投稿中のものは, 本文中に()書きで投稿中もしくは未発表として記載する。

10. その他

- 論文タイトルと著者名が, 表紙, Synopsis, 要旨, 送り状, 著作権許諾書で一致していますか?